

令和元年度 第1回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 令和元年8月5日（月） 13時35分～14時05分
2. 場 所 中央公民館2階研修室
3. 出席者 内山雅広委員，斎藤まり子委員，藤崎武彦委員，高梨秀一委員，篠田祥子委員，渡辺健夫委員，宮川朱実委員，葉山憲一委員，新村浩章委員，小沼綾子委員，龍岡達子委員，山田良江委員
(欠席者) 大木みわ委員
4. 傍聴人 0名
5. 議 題
 - (1) 第二期「富里市子ども・子育て支援事業計画」について
 - (2) 富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
 - (3) 富里市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

6. 会議の経過

事務局：本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻を少し過ぎておりますが、只今より、富里市子ども子育て会議を開催いたします。12人の委員の方々にご出席いただいておりますので、富里市子ども・子育て会議条例第6条第2項により、本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。それでは只今より、令和元年度第1回富里市子ども・子育て会議を開会いたします。はじめに、会長にご挨拶をお願いします。

会 長：こんにちは。子育てでは、保育料の無償化が始まるとの事ですが、市民まで詳しい情報が伝わっていない部分があり、すべてが無償化になるような、イメージが先走っている印象があるように見受けられます。また、保育士不足についても、深刻になっていると富里市の健診に行くと感じます。待機児童についても、このままいけば0になるかとも思いましたが、少し後退してしまった印象があります。事業計画における、事業の見直しにより、更なる次世代への支援が必要になってくるのかと感じました。みなさんには、忌憚のない意見を出していただければと思います。

事務局：ありがとうございました。それでは、富里市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、会議の議長を会長にお願いしたいと思います。龍岡会長よろしくお願ひいたします。

会 長：令和元年度の1回目の会議となります。本日の議題は、「第二期 富里市子ども・子育て支援事業計画について」、「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」、「富里市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」になります。最初の議題であります「第二期 富里市子ども・子育て支援事業

計画について」事務局より説明願います。

【事務局から説明】

会 長：「第二期 富里市子ども・子育て支援事業計画について」事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はございますでしょうか。以前の会議でサービスに地域差があるので是正してほしいと意見があったことを記憶しています。区分が変わるとの事で、メリットデメリットがあると思いますがいかがでしょうか。

理念等は継続で、特別の変更がないとの事でよろしいでしょうか。

そうしましたら、議題の二「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」事務局より説明願います。

【事務局から説明】

会 長：富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についてご意見ご質問ありますか。

委 員：資料4の学童保育についてですが、前回の会議で指導員が少ないと聞いていましたが補充が出来たのかお聞きしたい。

委 員：夏休みに足りなくなりそうだったが、養護の仕事をされている方や、シルバー人材から3名ほど手伝ってもらえた。非常に子どもたちも喜んでおりよかったと思っている。しかし、支援員が足りない状況は続いている。募集をかけても集まらない。なので、私自身も指導員になりました。シルバー人材で入ってくださっている方も、これをきっかけに指導員になっていただければと思っています。

委 員：資料5の乳児健診等における健診率で100%は難しいと思うが、100%に近づけるのが理想だと思っています。この100%から漏れている人たち、受けない人の統計があれば教えていただきたい。

事務局：細かいところについては、資料がございません。健診を受けていないお子さんについては、保健師が個別に訪問し、受診を促しています。

委 員：他にも保健推進員も赤ちゃん訪問をしていますよね。

事務局：しています。

会 長：健康推進課でいろいろと力をいれて頑張ってくれている。子育て支援課との情報の連携があればいい。健診を受けていない方が、虐待との結びつきが強いと思うので。

事務局：連携につきましては、要保護児童対策地域協議会で健康推進課も加わってい

るので、情報交換はしていて、健診を受けていないお子さんの訪問に同行するなど、状況の把握はしています。

会 長：待機児童についてなくなりかけていたものが再び増加した要因やその対策、目標値の達成についてはいかがでしょうか。

事務局：待機児童でございますが、資料3に平成31年4月1日現在の待機児童を記載させていただいており、43名となっております。平成28年度までは、待機児童が大変多くて、これを解決するために平成29年に葉山と向台のこども園化を図り、定員の拡充の結果、待機児童が13名に減少しました。その後、民間保育所や、小規模保育所の開園によりまして平成30年度は、6人まで減ったのですが、平成31年は43名に増えてしまった状況です。待機児童の現状ですが、1歳児の待機児童が多く、要因としては育児休暇からの仕事復帰による保育需要の増加によるものだと考えています。解決策ですが、公立での枠の拡充は、現状としてなかなか難しいので、民間との協議のうえ、解決方法を模索していきたいと考えております。

会 長：ご意見いかがでしょうか。

委 員：1歳児、2歳児の枠は余っていないのでしょうか。

事務局：定員のなかで、受け入れられるだけ受け入れています。

委 員：今までの希望者より、1歳児、2歳児を預けたい親御さんが増えたということでしょうか。

事務局：そうですね。

委 員：他にご意見等ございますか。

委 員：待機児童数の来年以降の数字の予測はできますか。

事務局：1歳児については、育児休暇からの仕事復帰という状況がありますので、あまり変わらないのかなと、また幼児教育の無償化がありますので、予測は難しい状況です。

委 員：幼児教育の無償化は、3歳児以上だけでなく1歳児、2歳児も関係するのでしょうか。

事務局：所得により、対象になる方もいます。

委 員：1歳児の待機児童については、住宅が増えたからではなく、育休明けの問題なのでしょうか。

事務局：主な要因は、育休明けだが、人口の推移をみても、5歳児の人数は減ってはいませんが、他の年齢において横ばい傾向が続くのではないかと考えています。

会 長：よろしいでしょうか。それでは議題の三「富里市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」事務局より説明願います。

【事務局から説明】

会 長：事務局から説明がありました富里市子ども・子育て支援事業計画の見直しについてご意見ご質問いかがでしょうか。

あくまでも、これは実施年齢に相当する3歳から5歳が対象ですか。

事務局：そうです。0歳から2歳は除かれます。

委 員：予算は国から降りてくるのですか。

事務局：今年度に限り国から補助して頂けます。来年度以降は、国が3分の1、県が3分の1、市が3分の1になります。

会 長：何かご質問ありませんか。

委 員：副食費の免除になる家庭の割合は。

事務局：3分の1程度で見込んでいます。

委 員：3分の2の方は支払があるのですね。3分の1の方の副食費の分を補助してくださるのですね。全体ではなくて。

事務局：そうです。

会 長：ご質問ご意見よろしいでしょうか。今日の議題が終了いたしましたので、これにて議事を終了し、事務局にお返しします。

事務局：龍岡会長ありがとうございました。それでは、『その他』といたしまして、事務局からは特にございませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。以上をもちまして、令和元年度第1回富里市子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。なお、次回の会議日程につきましては、9月2日（月）の午後1時30分から予定しております。詳細につきましては、後日、あらためて御案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。